

第 112 回企画展

# 川のある暮らし

～栃木の漁師の玉手箱～

平成 27 年

7月18日(土) ▶ 8月30日(日)

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜、7月21日(火)(但し、7月20日(月)は開館)

観覧料 一般 250(200)円 大学生・高校生 120(100)円

中学生以下は無料 ※ ( ) 内は20名以上の団体またはM割

## 【M割(ミュージアム割引)について】

※栃木県博物館協会では平成27年度から共通割引制度(M割)を実施しています。

※栃木県博物館協会のM割参加館の入館券(M割印押印あり)を持って、入館日から6か月以内にM割参加館に入館すると、料金割引を受けられます。



栃木県立博物館

栃木県宇都宮市睦町2-2  
TEL:028-634-1311(代)



## 第112回企画展

# 川のある暮らし ～栃木の漁師の玉手箱～

本県には鬼怒川、那珂川、渡良瀬川など関東有数の河川が流れています。これらの河川は鮎や鰻など水産資源の宝庫で、それらを得るための漁具や漁法、またさまざまな川魚料理が生まれてきました。

この企画展では、本県内水面の漁業と食について紹介します。流域にくらす人々は、時には自然と戦い、また魚と知恵を競い合うことで技術を高め、それらを次の世代に伝えてきました。栃木の漁師の知恵が詰まった玉手箱を紐解いて、素晴らしい地域の文化を明らかにします。

## 展示構成

### はじめに

#### 第Ⅰ章 漁法と漁撈用具

1. 網漁（からめて捕らえる）
2. ヤス漁・カギ漁（突いて捕らえる）
3. ウケ漁（誘い込んで捕らえる）
4. 釣漁（釣って捕らえる）
5. その他の漁法

（コラム）漁舟をめぐる民俗

#### 第Ⅱ章 川漁師と生活

1. 魚の運搬と保存
2. 川漁師の出で立ち
3. 生活と信仰

（コラム）最上川水系の漁撈用具

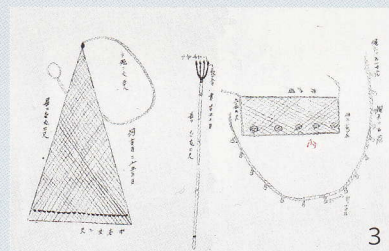
（国指定重要有形民俗文化財・致道博物館蔵）

#### 第Ⅲ章 川の恵み

1. 川と親しむ
2. 川魚食にまつわる民俗

#### 第Ⅳ章 漁の伝承

1. 記録の中の漁
2. 栃木県立博物館の取り組み



## 写真

1. 那珂川の漁撈用具（当館蔵）
2. 投網漁の様子（那珂川町）
3. 鬼怒川水産調査書（石川久子氏蔵）
4. 日本採魚図志（国文学研究資料館蔵）
5. モクズガニ
6. 鮎のくされ寿司

## 関連行事 ※お問い合わせ・お申し込みは電話で県立博物館（028-634-1312）へ

### ●担当学芸員によるオープニング講座

日時：平成27年7月18日（土）  
13時30分～15時  
会場：当館講堂（定員200名）  
無料（要申込）

### ●担当学芸員による展示解説

日時：平成27年7月26日（日）  
14時30分～15時30分  
会場：当館展示室（定員20名）  
要観覧料（申込不要）

### ●記念講演会「那珂川の川漁師の生活」

日時：平成27年8月2日（日）  
13時30分～15時30分  
会場：当館講堂（定員200名）  
講師：柏村祐司氏（当館 名誉学芸員）  
無料（要申込）

### ●学芸員とっておき講座「那珂川の漁撈用具」

日時：平成27年8月16日（日）  
13時30分～15時  
会場：当館研修室（定員40名）  
講師：篠崎茂雄（当館 学芸員）  
無料（要申込）

### ●企画展関連イベント「君も川漁師になろう！」

日時：平成27年7月19日（日）・26日（日）  
8月9日（日）・23日（日）・30日（日）  
いずれも10時～12時・13時～15時  
場所：当館エントランスホール他  
内容：投網投げ等川漁師の作業を追体験する  
協力：那珂川の漁師の皆さん  
無料（申込不要・当日会場にお集まりください）

## 交通案内



・JR宇都宮駅または東武宇都宮駅から「桜通り経由鶴田駅」行き・「桜通り  
・經由西川田駅」行きで「中央公園博物館前」下車（★）徒歩8分  
・「長坂経由新鹿沼」行きで「文星芸術大学附属中高」下車（★）徒歩10分  
開館期間中、駐車場は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。